資料3

プラスチック資源の分別収集の状況

1 概要

令和8年4月から始まった「プラスチック資源」の分別収集の状況について報告するもの。

2 市民に周知した方法

ア 分別説明会		
個別の申込みによる説明会(R8.8.3 時点)	90 回	約 2,570 人
市主催による説明会	8回	49 人
弘前地区環境整備センター	2回	14 人
サンライフ弘前	2回	11 人
ヒロロ(市民文化交流館ホール)	2回	22 人
岩木総合支所多目的ホール	1回	1 人
相馬総合支所多目的室	1回	1 人
保健衛生座談会	9回	146 人
イ リーフレット(広報ひろさき3月号と同時)配布		約 75,000 枚

ウ 広報ひろさきへの記事掲載
1月号 (分別の内容)、2月号 (無色透明袋)、4月号 (油汚れ)
ひろさきだより(2月 15 日、3 月 15 日号)
エ 市ホームページへの記事掲載
よくある質問や分別一覧表を掲載
オ 市民課カウンター上部のモニターでのお知らせ
3月16日から4月末まで
カ ごみ集積所への周知看板の設置(任意) 約 230 枚
リーフレットの一部を抜粋し A3 サイズにしたもの
キ 市委託(パッカー)車へのマグネットシート貼付 35台
「令和8年4月からのプラスチック資源は無色透明袋で！」
ク 市内スーパー、ドラッグストア等へのポスター配付 71 店舗
いとく、ユニバース、マックスバリュ、トライアル、カブセンター、ベニーマート、コープあおもり、コメリ、DCM、サンデー、ツルハドラッグ、薬王堂、サンドラッグ、MEGA、ハッピードラッグ、スーパードラッグアサヒ、マツモトキヨシ
ケ アップルウェーブ(行政なんでも情報)
3月 11 日放送
コ SNS での周知
市公式 LINE のお知らせ
サ 弘前市ごみ収集アプリでの周知

3 問い合わせの多かったもの(発生したトラブルなど)

(1)4月1週目 (約 350 件/日) ※約9割はプラに関する内容
・分別に関する問い合わせ(周知が足りない、分別がわからないなど)
・袋に関する問い合わせ(半透明袋で出せるのか、無色透明袋が売っていないなど)
・分別に関する批判(分別そのものに対するもの、無色透明袋の縛りに関するもの)
・電話が繋がらない(問い合わせや苦情により電話回線が常時塞がっている状態であった)→これによりメールの問い合わせが激増(毎日 20 件程度)

(2)4月2週目～4月5週目(下旬) (約 160 件/日) ※約7割はプラに関する内容
・収集されない(半透明のごみ袋を使用、収集ルートから漏れていたもの)
・分別に関する問い合わせ(周知が足りない、分別がわからないなど)
・無色透明の袋が売っていない(中東情勢の影響により入荷が困難となったもの)

(3)5月 (約 120 件/日) ※約5割はプラに関する内容
・分別に関する問い合わせ(分別がわからないなど)
・半透明袋で出されたものが残されている(赤いステッカー貼付)
・無色透明の袋が売っていない(中東情勢の影響により入荷が困難となったもの)

(4)6月 (約 100 件/日) ※約5割はプラに関する内容
・半透明袋で出されたものが残されている(赤いステッカー貼付)
・分別に関する問い合わせ(分別がわからないなど)
・無色透明の袋が売っていない(高齢等の理由で徒歩圏内の小売店のみ使用する方)

(5)7月 (約 80 件/日) ※約4割はプラに関する内容
・分別に関する問い合わせ(分別がわからないなど)
・無色透明の袋が売っていない(高齢等の理由で徒歩圏内の小売店のみ使用する方)

➤ 高齢者や障がいのある方が、不自由なく買い物ができるように関係課と移動販売や配送ネットワークを構築できないものか協議を進め、これが実現できれば、無色透明袋も取り扱ってもらうことで、全ての市民に無色透明袋を使用してもらえるものと思料。

4　プラスチック資源の回収量や燃やせるごみ等の減少量
※生活系＋事業系

（単位：kg、人）

		4月	5月	6月	7月
R7　燃やせるごみ	…①	4,345,390	4,572,630	4,321,360	4,384,340
R7　大型ごみ	…②	330,840	361,950	288,820	296,350
計(①＋②)	…A	4,676,230	4,934,580	4,610,180	4,680,690
R8　燃やせるごみ	…③	3,839,510	3,976,000	4,047,420	4,198,390
プラスチック資源	…④	**143,430**	**165,870**	**157,240**	**163,700**
R8　大型ごみ	…⑤	297,070	343,050	313,000	262,110
計(③＋④＋⑤)	…B	4,280,010	4,484,920	4,517,660	4,624,200
A（R7）		4,676,230	4,934,580	4,610,180	4,680,690
B（R8）		4,280,010	4,484,920	4,517,660	4,624,200
関係するごみの減少幅		-8.47%	-9.11%	-2.01%	-1.21%

	4月	5月	6月	7月
R7　推計人口	158,034	157,858	157,738	157,619
R8　推計人口	155,697	155,544	155,428	155,383
人口減少幅(%)	-1.48%	-1.47%	-1.46%	-1.42%

	4月	5月	6月	7月
ごみ量と人口の減少率の差	-6.99%	-7.64%	-0.55%	0.21%
	ごみ量減が大きい			人口減が大きい

【評価】
・プラスチック資源の分別収集によって、各家庭内でごみの見える化が進んだか。
・プラスチック資源の説明会に参加した多くの市民の意識が改めてごみに向いたことが一時的にごみ減量に繋がった要因と思われたが、ごみ量の減少幅が6月からは急激に元の水準に戻り始めているため、引き続きごみ量の動向を注視し、どのような要因で発生したのか見極める必要がある。

5　今後の市民への周知内容（予定）
・分別されたプラスチック資源がどのように変わるのか、施設の写真などと併せて周知する予定であり、広報ひろさき11月号に特集を組めないものか協議中
・市民から多く寄せられる問い合わせをピックアップして改めて周知する（広報ひろさき11月号のスペース次第では当該号に掲載）